

平成25年度浜田市決算状況をお知らせします

平成25年度の一般会計決算状況は歳入決算額が399億2,160万円（対前年度比5.3%増）、歳出決算額は393億4,252万円（対前年度比5.1%増）、翌年度へ繰り越す財源2億1,077万円を除いた実質収支で3億6,831万円の剰余金が生じました。市の各種財政指標は改善しているものの、長引く景気低迷、税収入の落ち込みに加え、平成28年度以降に生じる市町村合併による財政支援措置の縮減が見込まれているなど、先行きが不透明であるため、引き続き「中期財政計画」に沿って行財政改革を確実に実行し、持続可能な財政体質の確立に努める必要があります。

歳出総額 393億4,252万円

区分	具体的内容
総務費	庁舎の管理、徴税、地域振興などに使いました。
民生費	子育て支援、高齢者や障がいのある人への支援、生活保護などに使いました。
衛生費	ごみ処理や火葬場の維持、病気の予防、環境保全などに使いました。
農林水産業費	農業や林業、漁業の振興などに使いました。
商工費	商業や工業、観光の振興、企業誘致などに使いました。
土木費	道路や河川、公園、住宅の整備などに使いました。
消防費	消火活動、救急救命などに使いました。
教育費	小中学校、幼稚園、公民館の運営、文化財保護、生涯学習などに使いました。
公債費	借金の返済に使いました。
その他	議会の運営、災害復旧、勤労青少年ホームの運営などに使いました。

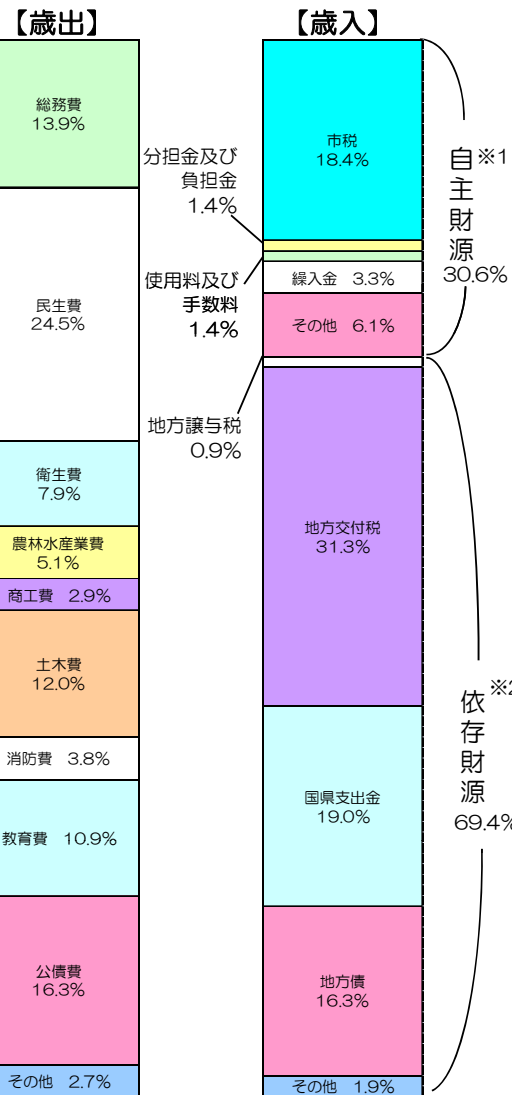
平成25年度に実施した事業



中央図書館整備事業
(事業費5億8,356万円)



本庁舎耐震改修事業
(事業費5億4,808万円)



歳入総額 399億2,160万円

区分	具体的内容
市税	みなさんが納めた税金です。市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税などがあります。
分担金及び負担金	特定のサービスを受ける人に負担してもらったお金です。保育料、福祉施設入所負担金などがあります。
使用料及び手数料	市の施設の使用料や、住民票等の発行手数料などです。
繰入金	基金（市の預金）を取り崩したり、特別会計（下段参照）から移し入れたお金です。
その他	預金利子や市の貸付けの返済金、事業受託収入などがあります。
地方譲与税	国が徴収した揮発油税や自動車重量税などのうち、一定基準が市に配分されます。
地方交付税	市税収入の少ない市でも、市民に一定水準のサービスが行えるよう、国から交付されるお金です。所得税や法人税、消費税、酒税等を配分しています。
国県支出金	市が行なう事業に対し、国や県が補助したり負担するお金です。
地方債	多額の経費がかかる事業（道路や学校建設など）を行なうために、国や銀行から借りたお金です。
その他	地方消費税交付金、交通安全対策特別交付金、地方特例交付金、自動車取得税交付金、配当割交付金などがあります。

※1自主財源：浜田市が自らの権限で調達できる収入のことです。
※2依存財源：国や県により交付されたり、割り当てられたりする収入や政府、銀行等から借り入れた収入のことです。

浜田市の財政指標

指数名	内容	平成25年度 算定結果	財政健全化法	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字率	一年間の標準的な収入と比較した、一般会計の赤字額の割合です	—	12.46%	20.00%
連結実質赤字率	一年間の標準的な収入と比較した、特別会計や公営企業会計を含むすべての会計を合算した赤字額の割合です	—	17.46%	30.00%
実質公債費率 (3カ年平均)	一年間の標準的な収入と比較した、一般会計が負担する借金などの返済額の割合です	13.4%	25.0%	35.0%
将来負担率	一年間の標準的な収入と比較した、将来一般会計が返済する借金などの負担割合です	115.8%	350.0%	—

歳入歳出差引額 5億7,908万円

【内訳】

- ・翌年度繰越金 2億1,077万円…平成26年度に延長して行う事業に充てられます。
- ・剰余金 3億6,831万円…「財政調整基金」などに積立を行います。

■特別会計

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	7,048,658	6,979,662
駐車場事業	58,500	53,488
公設水産物仲買売場	17,476	15,418
国民宿舎事業	86,503	86,503
公共下水道事業	910,104	910,051
農業集落排水事業	501,584	501,533
漁業集落排水事業	55,968	55,964
生活排水処理事業	68,224	68,224
簡易水道事業	1,122,760	1,122,172
後期高齢者医療	760,569	745,880

浜田市の会計には、一般会計の他、特定の収入で支出を賄う特別会計が10あります。また、地方公営企業法の適用を受け、独立採算制を原則とした水道事業、工業用水道事業の公営企業会計があります。

■公営企業会計

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出
水道事業	927,021	875,154
工業用水道事業	100,272	85,606

浜田さん家の家計簿を見てみましょう!!

支出		市の性質別区分		金額
食費	人件費	4万9千円		
光熱水費、日用雑貨代	物件費	3万2千円		
医療費、保育料など	扶助費	5万円		
ローンの返済金	公債費	5万3千円		
子どもへの仕送り	繰入金	3万1千円		
家の増築費、新車購入	普通建設費、災害復旧費	6万8千円		
町内会費、ご祝儀など	補助費など	2万7千円		
定期預金	積立金	8千円		
家や車の修理代、友人へ貸したお金	維持補修費、貸付金、投資及び出資金	1万円		
支出合計		32万8千円		

収入		市の性質別区分		金額
給料	市税	6万2千円		
家賃収入	使用料及び手数料など	2万9千円		
預金の取り崩し	繰入金	1万1千円		
親からの援助	地方交付税、地方譲与税など	11万4千円		
兄弟からの援助	国県支出金	6万3千円		
借金	地方債	5万4千円		
収入合計		33万3千円		

毎月約5千円の黒字となり、1年で約5万8千円となりました。そのうち、約2万1千円を翌年度に持っていく、残った約3万7千円を『財政調整基金』銀行などに預金しました。

